

無事故割引率等の改定について

1. 無事故割引率及び適用方法の改定

平成 27 年度から実施した無事故割引率 2 割拡大は、内閣府の指摘を受けてその翌年度に行われた剰余金の解消策を含む事業構造・財政構造の見直しに先駆けており、収支相償対策の一環をなすものである。無事故割引率 2 割拡大の掛金収入の押し下げ効果は 9.1%と推計されており、かつ、検討当時には想定されていなかった動態的傾向と大規模企業の新規加入がもたらす建設共済保険の加入企業の構造的変化(完工高分布の二極化:特に 10 億円以上企業の増加)に鑑み、近未来に加速化される担い手不足等による契約総数の減少や完工高の大変動に備えて掛金の収入構造と無事故割引率を適合させるべく調整することにより、共済団が運営する公益目的事業全体の財政基盤の強化に努めることとする。前年度に初めて保険収支が赤字になったことも踏まえ、漸進的な増収効果を見込むとともに、現行の掛金負担割合の上下格差や保険事故後の掛金の跳ね上がり、完工高区分が上がった場合の掛金の割安と下がった場合の掛金の割高を極力是正するため、業界の環境変化と連動する形で契約者に受け入れられやすいことを第一義としながら、無事故割引率及び適用方法の改定を行い、共済制度の公平性と安定性を確保していくこととしたい。

具体的には、無事故割引率の現表を土台とした上で、令和 3 年度から、特に増加が著しい完工高 10 億円以上の完工高区分を細分化するとともに完工高 2 億円以上の割引率を見直した新表を設定し、契約更新の際に現表の完工高区分が上がった契約者及び前年度に保険金が支払われた契約者並びに新規契約者は新表の割引率を適用することとする。また、全体の約 6 割を占める完工高 2 億円未満の契約者は割引率を据え置いてそのまま新表に移行し、その他の契約者については経過措置として当面5年間、現表の割引率を適用することとする。

2. 保険金区分 5,000 万円の新設

契約者から、保険金区分 4,000 万円では足りないといった声が建設業協会を通じて寄せられており、保険料が高くともやむなく他の保険に加入せざるを得ないケースもあるため、契約者ニーズに応える保険サービスを可能な限り提供していくとの観点から、以下の事情も考慮した上で、5,000 万円区分を新設することとしたい。

なお、過去 10 年間に支払った保険金支払いの実態調査を行った結果、示談金額 4,000 万円を超えている事例は示談件数の約 20%を占めており、加えて 5,000 万円以内で示談している事例は示談件数の 99% 280 件余を数える。また、保険収支上もシミュレーションの結果、十分に可能であると判断している。

以上

無事故割引率及び適用方法等の改定(全体像)

今回の見直しは、加入企業の構造的変化(完工高分布の二極化:特に完工高10億以上企業の増加)を踏まえ、近未来に想定される担い手不足等による契約者総数の減少や完工高の大変動に備えて、掛金負担割合の上下格差や保険事故後の掛金の跳ね上がり、完工高区分が上がった場合の掛金の割安と下がった場合の掛金の割高を極力是正するため、業界の環境変化と連動する形で契約者に受け入れられやすいことを第一義としながら無事故割引率及びその適用方法の改定を行い、共済制度の公平性と安定性を確保していくことを目的とする。

基本的な考え方：(1)完工高10億以上について区分を細分化する。

(2)割引率の見直しを行う。

①割引率の全契約一律引き下げは避け、更新契約に当面5年間の経過措置を設ける。

●完工高2億以上：「新規契約」と「更新契約で完工高区分が上がる契約」に限定して新表を適用し、それ以外は経過措置として当面5年間現表を適用する。

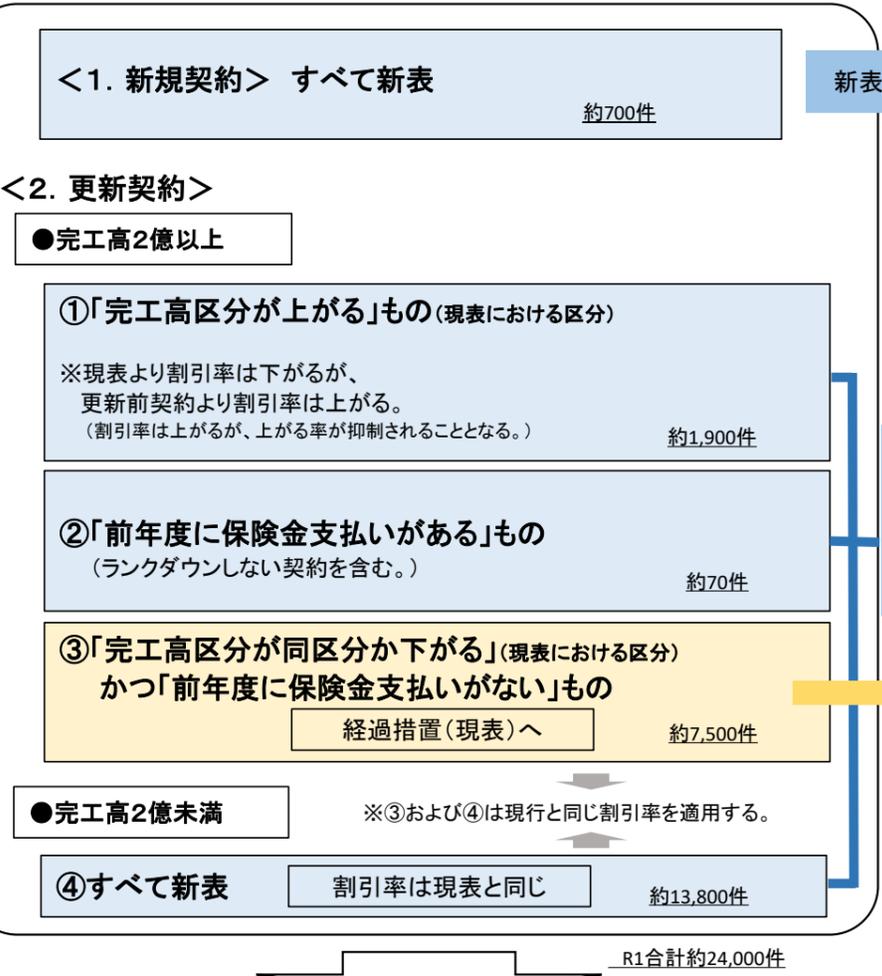
●完工高2億未満：現行のまま据え置く(新表を適用するが、割引率は現表と同じとする。)

②保険金支払いがあった契約は、翌年度の掛金の極端な跳ね上りを緩和するため割引率を引き上げる(新表を適用。ランク2の割引率を変更。)

(3)保険金区分5,000万円の新設

◆アクチュアリーの評価(抜粋) ・保険契約者の要望に応え、本保険の信頼感、満足度を高めるものであり、本保険の普及・拡大に資するものと考えられます。
・完工高区分の追加により、完工高の増減による割引率への感応度が高まり、契約者にとっては好ましいものと考えられます。

適用方法



【新表】 完工高10億以上について区分を細分化するとともに、完工高2億以上の割引率を見直す。

完工高区分	無事故割引率		
	ランク1	ランク2	ランク3
500億以上	割引なし	50%	70%
250億以上500億未満	割引なし	48%	68%
100億以上250億未満	割引なし	46%	66%
80億以上100億未満	割引なし	40%	58%
65億以上80億未満	割引なし	38%	56%
50億以上65億未満	割引なし	36%	54%
35億以上50億未満	割引なし	30%	46%
20億以上35億未満	割引なし	28%	44%
10億以上20億未満	割引なし	26%	42%
5億以上10億未満	割引なし	20%	34%
2億以上5億未満	割引なし	12%	22%
2億未満	割引なし	6%	12%

【経過措置(現表)】

完工高区分	無事故割引率		
	ランク1	ランク2	ランク3
100億以上	割引なし	36%	72%
50億以上100億未満	割引なし	30%	60%
10億以上50億未満	割引なし	24%	48%
5億以上10億未満	割引なし	18%	36%
2億以上5億未満	割引なし	12%	24%
2億未満	割引なし	6%	12%

次年度以降も同様。更新の際に適用する表を判定していく。(一旦、新表を適用した契約は、その後は新表を適用する。)